市　長　公　室

令和９年度予算要求に関する基本方針

・第九次総合計画の着実な推進と市長公約の実現を図るため、トップマネジメント及びトップセールスを推進します。

・市民の生命と財産を災害から守るため、「自助・共助・公助」の取り組みにより、総合的な防災力の強化を図ります。

・市民に伝わる戦略的な広報の展開と開かれた公聴の推進を図ります。

・交流による地域の活性化や心の豊かさの創出、広い視野を持った次世代の人材育成を図るとともに、異なる文化や慣習を認め合い、共に生きる社会の構築を図ります。

・首都圏における情報収集・発信機能の強化を図ります。

要求額

単位：千円、％

会計名	令和８年度 当初予算額	令和９年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	297,289	1,054,342	757,053	254.65

主な増減理由

・防災行政無線設備の更新による増	７８０，３８０千円
・県防災情報通信システム市町村局更新負担金の増	１１，５０４千円
・外国人留学生奨学費補助金の所管替えによる減	△４，２００千円
・市制施行９０周年記念式典に係る経費の減	△６，７７０千円
・防災行政無線修繕費の減	△１４，０００千円

要求のポイント

（　　）は前年度予算額

○ トップマネジメント及びトップセールスの推進　　１９，６８０千円
（１５，０００千円）

市長・副市長の活動とそれを支える秘書業務に必要な経費を計上
・トップマネジメントやトップセールスのための事務費

○ 防災意識の向上と地域防災力の強化　４，８５７千円（５，０２０千円）

市民の防災に関する知識・理解の向上や実践的な防災訓練の実施に必要な経費を計上
- ・地域が取り組む防災訓練（避難行動訓練、避難所運営訓練）、防災学習等の支援
- ・防災リーダー（防災士）の育成
- ・防災意識の啓発

○ 災害情報の発信強化と避難所機能の充実　８９２，３５２千円（１２７，７８５千円）

防災体制の充実を図るために必要な経費を計上
- ・防災行政無線設備の更新
- ・防災情報伝達手段の充実
- ・災害備蓄物資等の確保
- ・ライフライン保全のための立木伐採

○ 広報公聴と顕彰の推進　１０２，１５１千円（１０９，０５４千円）

各種媒体による情報発信に必要な経費を計上
- ・広報たかやまの発行、ＦＭ・ＣＡＴＶにおける番組製作・配信
- ・ＳＮＳなどによる情報発信

表彰等に必要な経費を計上
- ・市表彰式の開催
- ・叙勲褒章受章祝賀会の開催

○ 都市交流と多文化共生の推進　２２，４７２千円（２７，６００千円）

姉妹友好都市等との交流や多文化共生を推進するために必要な経費を計上
- ・海外の姉妹友好都市等との交流促進をはじめとした国際交流事業の実施
- ・市民の多文化共生意識の醸成
- ・メール配信等における市政情報の多言語対応（予算は他課にて計上）
- ・国内の姉妹友好都市との交流促進

○ 首都圏における情報収集・発信機能の強化　９，１４０千円（９，１４０千円）

東京事務所の運営に必要な経費を計上
- ・首都圏における誘客や移住・定住の促進
- ・首都圏における飛騨高山ブランドの発信と地場産品の販路拡大
- ・関係省庁等との連絡調整

総　合　政　策　部

令和９年度予算要求に関する基本方針

令和９年度は、第九次総合計画の３年目となり、総合計画で掲げた重点戦略や重点事業、地域間連携（エリア）のまちづくりを着実に推進します。

・地域が抱える課題への対応と各地域・エリアの活性化に向け、地域おこし協力隊員と連携するとともに、地域支援員が各地域の住民が抱える固有の課題にきめ細かく寄り添うことで、住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域づくりに取り組みます。

・高校生や大学生等の若者が市内でいきいきと活動できるよう、市内在住の大学生等への支援や安心して利用できる拠点の提供に取り組みます。

・駅西まちづくり構想で示した市民のニーズを反映したまちづくりとなるよう、引き続き検討を進め、「市民の夢や願いをかなえ、笑顔と心をはずませる駅西エリア」の実現に向けて取り組みます。

要求額

単位：千円、％

会計名	令和８年度 当初予算額	令和９年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	799,406	255,067	△ 544,339	△ 68.09

主な増減理由

・地域おこし協力隊員の活動に係る経費の増　１６，２３７千円
・若者等活動事務所（村半）施設修繕の増　１１，０００千円
・大学連携センター補助金（学生支援等）の増　７，２００千円
・就業構造基本調査及び住宅・土地統計調査に係る経費の増　２，８５６千円
・経済センサスに係る経費の減　△５，８２０千円
・高山駅西地区複合・多機能施設の整備に係る経費の減　△５７５，１３１千円

要求のポイント

（　　）は前年度予算額

○ 新たな公共マネジメントへの挑戦　３２，７９０千円（２５，５７０千円）

団体・企業・大学等との連携の推進に必要な経費を計上
・政策コーディネーターの設置
・大学連携の推進
（飛騨高山大学連携センターに対する助成、市内在住大学生等への支援等）
・自治基本条例等の制定に向けた検討

○ 高山駅西地区まちづくり構想の推進　　８６，７２９千円
（６６１，８６０千円）

高山駅西地区複合・多機能施設の整備に必要な経費を計上
・今後の整備方針の検討

○ ＳＤＧｓの推進　　１，９１０千円
（２，１５０千円）

飛騨高山ＳＤＧｓパートナーシップセンターを中心としたＳＤＧｓの推進に必要な経費を計上
・私なりのＳＤＧｓ宣言、飛騨高山ＳＤＧｓパートナー登録制度の運用
・ＳＤＧｓを通じた市民、事業者、各種団体のパートナーシップの構築

○ 若者活動の拠点の提供　　１６，１５０千円
（５，６５０千円）

次世代を担う若者たちが地域で活動するための拠点の提供に必要な経費を計上
・若者等活動事務所（村半）の管理及び運営

○ 地域活動の促進による地域の振興　　１０５，３０５千円
（８９，０７９千円）

地域主体の活動への支援に必要な経費を計上
・地域の課題解決に向けた活動に対する支援
・地域おこし協力隊員の募集及び活動に対する支援

総　務　部

令和９年度予算要求に関する基本方針

・職員が心身ともに健康でやりがいを持って働くことができる職場環境の構築に取り組みます。

・法令等を遵守しつつ適正な業務執行を行うための体制強化に取り組みます。

・行政を取り巻く環境の変化に的確に対応できる職員の育成に取り組みます。

・持続可能なまちづくりに向けた効率的かつ効果的な行政経営を推進します。

・ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）により、市民サービスの向上、市役所業務の刷新、産業や地域社会のイノベーションの創出に取り組みます。

要求額

単位：千円、％

会計名	令和８年度 当初予算額	令和９年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	862,543	910,766	48,223	5.59

主な増減理由

・選挙執行経費の増（県議会議員選挙、市議会議員選挙）	１０２，０３２千円
・健康管理システムの標準化移行による増	３４，０００千円
・生成ＡＩ等の活用拡大による増	２９，０３９千円
・県セキュリティクラウドの更新完了による減	△１６，４６０千円
・文書管理システムの刷新完了による減	△２９，５００千円
・選挙執行経費の減（市長選挙、県議会議員選挙準備費）	△５４，０００千円

要求のポイント

（　　）は前年度予算額

○ 職員の健康管理の充実

１８，４２０千円
（１８，５４０千円）

職員の健康管理にかかる必要な経費を計上
・ストレスチェックを活用した職場環境改善に向けた取り組み

○ 適正な人事管理

４２，３２３千円
（４１，２２０千円）

職員採用など人事管理にかかる必要な経費を計上
・採用試験応募者の増加を図る取り組み（採用募集ＰＲ動画・パンフレット作成など）
・内部統制体制の構築

○ 職員の意識改革と資質向上の推進　　２３，６６０千円
（２３，３４０千円）

職員研修や人事交流に必要な経費を計上
・職員の意欲の向上や適正かつ効率的な事務執行につながる研修の実施
・接遇力の向上や市民に分かりやすく伝わる発信力の向上につながる研修の実施
・カスタマーハラスメントへの適切な対処方法等を習得するための研修の実施

○ 公共施設等総合管理計画の推進　　３７０千円
（３９０千円）

公共施設等総合管理計画の推進、指定管理者制度の運用に必要な経費を計上

○ 行政経営の推進　　４５２千円
（４３０千円）

行政経営の推進に必要な経費を計上

○ ＤＸの推進　　６５４，０７３千円
（６５１，３８０千円）

ＤＸの推進に必要な経費を計上
・市民サービスの向上
・市役所業務の刷新
・産業や地域社会のイノベーションの創出
情報システムの整備、運用に必要な経費を計上
・情報システムの運用保守、セキュリティ対策等

○ 投票率向上の取り組み　　６７４千円
（５９０千円）

小中学校等を含む選挙に関する啓発に必要な経費を計上

財　務　部

令和９年度予算要求に関する基本方針

・第九次総合計画の着実な推進に向け、財政運営の３つの視点　“安定”“柔軟”“持続”を踏まえ、適正な財政運営と財源確保に取り組みます。

・公有財産の積極的な活用と契約制度の適正な管理に努めます。

・公平で適正な課税の実施と税収納率の向上に努めます。

要求額

単位：千円、％

会計名	令和８年度 当初予算額	令和９年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	5,039,764	5,263,422	223,658	4.44

主な増減理由

・旧高根支所庁舎等の解体による増　１５４，６６６千円
・市役所庁舎の設備更新等工事による増　５９，１２４千円
・市債残高の増加による公債費の増　２７，４７３千円
・都市計画基本図修正業務等に伴う固定資産土地現況調査等委託料の増　１１，９００千円
・市税還付金の減　△１０，０００千円

要求のポイント

（　　）は前年度予算額

○ 適正な財政運営と財源の確保　３，９００千円（３，９００千円）

健全で持続可能な財政基盤の確立を図るため、適正な財政運営等に必要な経費を計上
・財政管理費、諸費などの事務費

○ 適正な公共調達の推進　８１９千円（７６０千円）

公平・公正な契約事務の遂行や検査によるチェック体制の確立に必要な経費を計上
・契約検査に係る事務費

○ 庁舎等の適正管理　　６８２，４５９千円
（６１４，５８３千円）

行政事務の円滑な実施に必要な経費を計上
- ・庁舎、公用車等の維持管理
- ・庁舎の設備更新等工事

○ 財産管理の適正化と効率的な運用　　２１５，５１１千円
（７８，０１３千円）

公有財産の適正な管理と未利用資産の活用や処分に必要な経費を計上
- ・旧高根支所庁舎等の解体
- ・普通財産の管理や活用、処分のための測量・登記業務
- ・市営墓地の管理
- ・市有施設の火災保険の加入

○ 公平な課税と税収納率の向上　　８８，７３２千円
（７３，６１０千円）

固定資産税等の公平・公正な賦課及び収納率の向上のために必要な経費を計上
- ・字絵図書替
- ・家屋所在地番等調査
- ・固定資産現況調査
- ・土地鑑定評価
- ・申告相談予約受付
- ・コンビニ収納代行委託
- ・公金収納業務委託

市　民　活　動　部

令和９年度予算要求に関する基本方針

地域・文化芸術・スポーツなど様々な市民の活動が活発に行われ、市民が主体のまちづくりが進むよう多様な主体と協働した取り組みに対する支援や施設の整備などを行います。

・持続可能な地域コミュニティの維持に向けたデジタル技術の活用や町内会への加入促進、負担軽減の取り組みなど、まちづくり協議会と協働して安心して暮らせる地域づくりへの支援を行います。

・若者や女性をはじめ、市民がやりたいことにチャレンジできる環境づくりに向け、支援団体等と連携して取り組みます。

・市民活動団体や事業者、指定管理者などと連携し、芸術・文化・スポーツ・映画・芸能活動への支援を行い、市民の学びや体験の充実に取り組みます。

・社会の変化などを踏まえた各種啓発事業や研修会などの開催を通し、自分らしく安全・安心に暮らせる地域づくりに取り組みます（多様性、交通安全、防犯等）。

・暑さ対策や老朽化した施設の整備など、施設の計画的な整備・維持管理を進め、既存施設の利便性向上を図り、市民が安心して活動できる場所を充実させます。

要求額

単位：千円、％

会計名	令和８年度 当初予算額	令和９年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	3,159,702	3,526,261	366,559	11.60

主な増減理由

・丹生川文化ホールの空調・照明音響改修による増	２１９，１７７千円
・野球場整備による増	１６１，０７７千円
・高校総体スキー大会等開催による負担金の増	８，３１６千円
・町内会集会施設整備事業補助金の増	２，０００千円
・結婚新生活支援補助金の終了による減	△１２，９００千円

要求のポイント

（　　）は前年度予算額

○ 協働のまちづくりの推進　　２９９，１４５千円
（２９７，３８３千円）

地域づくり活動及び市民活動の促進と協働の推進に必要な経費を計上

・まちづくり協議会の地域の課題解決に向けた取り組みに対する支援
・ひだ財団との連携による若者や高校生、市民活動団体等の活動に対する支援
・集会施設の機能向上に向けた改修に対する助成
・地域コミュニティ運営・活動支援アプリを活用した取り組みに対する支援

○ 交通安全の推進　３，１１５千円
（３，０７１千円）

交通安全に対する意識の醸成、交通安全対策に必要な経費を計上

○ 結婚の支援　６，７６５千円
（１８，９８０千円）

結婚につながる出会いの機会の創出に必要な経費を計上
・結婚相談の実施
・ひだ財団との連携による出会い創出に向けた事業に対する支援

○ 多様性の推進　２，２０５千円
（２，３７１千円）

多様性の推進に対する市民の意識醸成に必要な経費を計上
・多様性に視点をおいた講演会開催などによる意識啓発
・高山市平和の日や平和都市宣言の啓発

○ 生涯学習の推進　８０１，９８０千円
（５８２，３３５千円）

生涯学習機会の提供や生涯学習施設の管理運営などに必要な経費を計上
・青少年の健全育成や若者の交流の機会の提供
・市民の多様な活動の場としての生涯学習施設の管理運営と計画的な改修

○ 文化芸術の振興　４６，０２０千円
（４５，８００千円）

市民主体の文化芸術活動の支援や文化芸術に親しむ機会の提供などに必要な経費を計上
・市民主体の文化芸術活動に対する支援
・市美術展覧会の開催及び文化芸術鑑賞事業の実施

○ スポーツ・レクリエーション機会の充実や競技力向上に向けた取り組みの推進　３０，４１６千円
（２０，７２０千円）

スポーツ機会の提供や競技力向上などに必要な経費を計上
・高校総体スキー大会（アルペン）の開催及びハンドボール競技大会の開催準備

○ スポーツ環境の充実と活用の促進　２，１８１，１９９千円
（２，０４４，９３４千円）

スポーツ施設の整備や維持管理に必要な経費を計上
・野球場の整備、中山公園陸上競技場三種公認の更新
・スポーツ施設の暑さ対策（ビッグアリーナ空調整備）
・スポーツ施設のＬＥＤ化改修工事

○ 高地トレーニングエリアの維持と活用の促進　１２，４３９千円
（１２，５８０千円）

高地トレーニング施設の維持管理、活用のために必要な経費を計上
・高地トレーニング施設の維持管理

○ 位山交流広場（市民スキー場等）の運営　１４２，０９４千円
（１３０，６５０千円）

高山市位山交流広場の運営や維持管理に必要な経費を計上
・幅広い世代の人が通年楽しめる施設運営

市　民　福　祉　部

令和９年度予算要求に関する基本方針

第九次総合計画の目指す姿である「障がいや病気の有無、年齢などに関わらず、生き生きとした暮らしの実現」を目指し、以下の取り組みをすすめます。

・属性や世代を問わず、複雑化・複合化した課題に対応するため、総合的な相談に加え、地域生活課題の解決に向けた包括的な支援を推進します。

・介護業界における人材を確保・育成していくため、研修や就業支援などの介護人材の確保を強化します。

・専任の認知症地域支援推進員の配置などにより、認知症の相談支援体制の充実や認知症施策の推進を図ります。

・障がい者福祉総合計画、老人福祉計画・介護保険事業計画に基づき、安定的な障がい福祉サービスや介護保険サービス等を提供します。

要求額

単位：千円、％

会計名	令和８年度 当初予算額	令和９年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	5,300,793	5,414,671	113,878	2.15
介護保険事業 特別会計	9,840,171	9,936,033	95,862	0.97

主な増減理由

・火葬場建設事業費の増　　１１１，０４０千円
・高齢者在宅生活支援事業費の増　　２３，５８０千円
・障がい者施設整備費助成事業費の増　　１５，０００千円
・火葬場管理事業費の減　　△１９，６７４千円
・生活保護費給付事業費の減　　△３６，８００千円

要求のポイント

（　　）は前年度予算額

○ 重層的支援体制による包括的な支援の推進　　１９６，１１４千円
（１８０，７９４千円）

複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援に必要な経費を計上
・相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施
・ひきこもり支援体制の構築

○ 生活困窮者への支援　　５５３，２０１千円
（５９０，００１千円　）

適切な生活保護制度運営に必要な経費を計上
・生活保護受給者への支援

○ 地域で安心して暮らせる体制づくり　　９０２，６９６千円
（９２１，７０８千円）

地域の支え合いの体制づくりや被災者支援などに必要な経費を計上
・地域福祉を支える体制づくりへの支援
・災害等の被災者に対する支援
・福祉医療費の助成

○ 障がい者が安心して快適に暮らせる環境づくり　２，７８１，４９８千円
（２，７４７，０４３千円）

障がい福祉サービス等の提供や、地域生活と社会参加の促進に必要な経費を計上
・障がい福祉サービス給付
・障がい者の就労やコミュニケーション、通院に対する支援
・福祉人材確保に対する支援

○ 高齢者の安全で安心な生活の支援　　４５８，４７２千円
（４２９，９８２千円）

高齢者の安全で安心な生活や生きがいづくりの支援に必要な経費を計上
・成年後見制度の利用促進、終活支援
・老人福祉施設の運営、維持管理
・介護人材確保、介護事業所の事業継続に対する支援

○ 健全な介護保険事業の運営　　９，４７５，０１３千円
（９，３５０，５０１千円）

介護認定、保険料の賦課徴収、介護給付に必要な経費を計上
・介護サービス等の給付、介護保険料収納等の委託　ほか

○ 介護予防の推進及び包括的な支援の実施　　４５４，７４０千円
（４８４，６６０千円）

高齢者の介護予防、生活支援、認知症施策の推進に必要な経費を計上
・要支援者等に対する介護予防・生活支援に関する事業の実施
・高齢者健康教室の開催、自主活動の支援、認知症施策の推進
・在宅医療と介護・福祉の連携の推進

○ マイナンバー（個人番号）カードの普及促進　　８，３０６千円
（７，５３０千円）

マイナンバー（個人番号）カードの交付及び普及促進に必要な経費を計上
・マイナンバーカードの取得啓発
・マイナンバーカード利用による「書かなくてもよい」窓口の推進

○ 火葬場の運営　　７１，００６千円
（９０，６８０千円）

市営火葬場の維持管理に必要な経費を計上

○ 新火葬場建設の推進　　４１９，２８０千円
（３０８，２４０千円）

新火葬場と周辺道路の整備に必要な経費を計上

こ　ど　も　未　来　部

令和９年度予算要求に関する基本方針

「第九次総合計画」及び「こども未来計画」に掲げた目指す姿、市長公約の着実な推進に向けて、笑顔あふれるこどもを育むことにより、まちに暮らすすべてのひとにとってより良い未来へとつなげられるよう各種施策に積極的に取り組みます。

・魅力的なこどもの遊び場の創出など、こどもの心と身体を健全に育む環境整備を推進します。

・こどもと家庭の健康維持を図るため、母子の健康増進及び伴走型相談支援を推進します。

・経済的な支援や保育施設の整備など、こどもを安心して生み育てられる環境整備をすすめます。

・ひとり親家庭や困難を抱えるこども家庭への切れ目のない支援を行います。

要求額

単位：千円、％

会計名	令和８年度 当初予算額	令和９年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	6,444,268	6,491,669	47,401	0.74

主な増減理由

・公定価格の上昇に伴う私立保育所児童保育委託料の増	８０，１５０千円
・障がい児通所支援給付費の増	４９，５１６千円
・高山幼稚園の新制度への移行による施設型給付費の増	４３，３００千円
・私立保育所運営費等助成の増	４３，１５９千円
・放課後児童クラブ運営委託料の増	１８，０００千円
・旧荘川保育園の園舎解体等の減	△５３，０００千円
・少子化等に伴う児童手当の減	△１４０，０００千円

要求のポイント

（　　）は前年度予算額

○ こどもの心と身体を健全に育む環境整備の推進　　３６６，７４０千円
（３３３，３７１千円）

こどものライフステージに応じた居場所づくりや魅力的なこどもの遊び場の創出に必要な経費を計上

・拠点となるつどいの広場への複合遊具等の整備

○ こどもと家庭の健康維持を図る伴走支援の推進　　１７６，０２３千円
（１７７，６２５千円）

母子の健康増進及び伴走型相談支援体制の充実に必要な経費を計上
・乳幼児健診の拡充
・妊婦歯科健診の拡充

○ 安心して生み育てられるこども家庭支援の提供　１，７６２，７５０千円
（１，９０６，９９０千円）

経済的支援に必要な経費を計上
・児童手当等の支給
ニーズに応じたきめ細かな託児・支援サービスの提供に必要な経費を計上
・ファミリーサポート、病児保育事業の実施

○ 家庭の就労や育ちを支える保育サービスの提供　３，２０８，３０５千円
（３，１０１，７７２千円）

保育環境の向上に必要な経費を計上
・私立保育園、幼稚園等への施設型給付
・私立保育園の運営費等に対する助成
・公立保育園の管理運営

○ 困難を抱えるこども家庭への切れ目のない支援　　６６６，８７９千円
（６０１，５２０千円）

こどもへの支援体制の充実に必要な経費を計上
・障がい児通所支援等への給付
・ひとり親家庭等に対する学習支援

○ ひとり親家庭の自立促進に向けた積極的な支援　　３１０，９７２千円
（３２２，９９０千円）

ひとり親家庭の生活の安定に必要な経費を計上
・児童扶養手当等の支給
・ひとり親家庭における資格取得に対する助成

医　療　保　健　部

令和９年度予算要求に関する基本方針

市民の皆様の健康と命を守るため、以下の取り組みを推進します。

・中核病院との連携強化や医療人材の育成確保など地域医療体制の充実に取り組みます。

・生活習慣病の発症や重症化の予防、こころの健康増進、健康を支える環境整備に取り組みます。

・国民健康保険及び後期高齢者医療制度の安定的かつ持続可能な運営に取り組みます。

要求額

単位：千円、％

会計名	令和８年度 当初予算額	令和９年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	2,018,172	2,040,472	22,300	1.10
国民健康保険事業特別会計（事業）	8,091,324	7,989,626	△ 101,698	△ 1.26
国民健康保険事業特別会計（直診）	239,085	240,598	1,513	0.63
後期高齢者医療事業特別会計	1,997,199	2,091,303	94,104	4.71

主な増減理由

・後期高齢者の増加に伴う療養給付費等の増（後期特会）　９２，７９２千円
　　（一般会計）　７５，０８１千円
・定期予防接種の実績を踏まえた委託料の減　△５９，１２１千円
・被保険者数の減少に伴う療養給付費等の減　△１０１，４００千円
　（国保特会・事業）

要求のポイント

（　　）は前年度予算額

○ 地域医療体制の確保と充実　　６３１，３５０千円
（６２８，０３７千円）

中核病院と市の３者連携協定に基づく医療体制の確保・充実などに必要な経費を計上
- ・中核病院と市が連携した医療人材の育成・確保と医療ＤＸの推進
- ・地域の医療体制を維持するための設備整備に対する助成
- ・救命救急センター等の運営に対する助成、休日診療所の運営

国民健康保険診療所の運営と診療体制の確保に必要な経費を計上
- ・国民健康保険診療所の運営
- ・移動診療車の運行管理

○ 市民の健康意識の醸成と健康増進　　５３１，８３８千円
（５８６，４４０千円）

市民の健康増進のために必要な経費を計上
- ・健康づくりの推進
- ・こころの健康支援
- ・健康診査、がん検診の実施
- ・歯周病検診の充実
- ・予防接種の実施

○ 国民健康保険制度の運営　　７，９８９，６２６千円
（８，０９１，３２４千円）

国民健康保険事業の円滑な実施および運営に必要な経費を計上
- ・特定健康診査の受診率向上など保健事業の推進
- ・子育て世代の負担軽減
- ・保険料徴収業務の一部委託

○ 後期高齢者医療における保健事業の推進　　４９，０７１千円
（４８，２４０千円）

後期高齢者の健康増進のために必要な経費を計上
- ・すこやか健診及びさわやか口腔健診の実施

森　林・環　境　政　策　部

令和９年度予算要求に関する基本方針

飛騨高山の豊富な森林や自然資源を守り、育て、活用した快適で潤いに満ちた暮らしの実現に向けた取り組みを下記のとおり推進します。

・エネルギーの地産地消等により、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進します。

・中部山岳国立公園をはじめとする自然資源の活用により、豊かな自然に対する理解と自然環境の保護・保全と利活用の推進に取り組みます。

・生活環境の保全と観光振興の両立に向けた取り組みを推進します。

・厳しい排ガス基準を遵守した、安全かつ適正なごみ焼却処理及び資源循環型社会の形成に取り組みます。

・森林環境譲与税を有効活用した森林管理や整備の取り組みにより、災害に強い健全な森づくりを推進します。

・林業を志す若者への支援や、木育・森林環境教育の推進により、森林や林業に対する意識醸成と担い手の育成を図ります。

要求額

単位：千円、％

会計名	令和８年度 当初予算額	令和９年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	3,734,902	4,161,140	426,238	11.41

主な増減理由

・旧ごみ処理施設解体工事の増	７３２，３００千円
・脱炭素先行地域づくり事業に対する助成の増	１８５，６２２千円
・再生可能エネルギーの地産地消の促進に対する助成の増	１３９，２０３千円
・ごみ処理施設法定点検項目の追加による増	４０，９２６千円
・緑の保全事業補助金の拡充による増	１７，３５０千円
・地籍調査事業の減	△３０，０００千円
・埋立処分地の延命化事業終了による減	△６５９，０００千円

要求のポイント

（　　）は前年度予算額

○ 自然エネルギーを活用したまちづくりの推進　　１，３５１，２６１千円
（１，０２８，２５３千円）

自然エネルギー活用の普及促進、地球温暖化対策の推進に必要な経費を計上

・脱炭素先行地域づくり事業に対する助成
・木質バイオマスストーブ・ボイラーの導入に対する助成
・再生可能エネルギーの地産地消の促進

○ 生物多様性保全の推進　１２，２４１千円
（１１，１９０千円）

自然環境の保全や生物多様性保全の意識啓発に必要な経費を計上
・乗鞍山麓五色ヶ原の森、乗鞍岳、御嶽山等を活用した自然環境学習
・特定外来生物の防除

○ 自然公園の保全と活用　１１６，０９４千円
（１３９，３６９千円）

自然公園等の保全と利用の推進に必要な経費を計上
・乗鞍山麓五色ヶ原の森の維持管理、登山道の維持管理等
・中部山岳国立公園等の利用、活性化の推進

○ 快適に暮らせる環境の整備　１９，９１２千円
（２５，６２６千円）

生活環境の保全と公害の防止に必要な経費を計上
・河川水質等の調査の実施、ごみのポイ捨て・路上喫煙対策の推進
・産業廃棄物最終処分場計画への対応

○ 資源循環型社会の実現　１，１８５，８３４千円
（１，７８１，２０８千円）

ごみの収集、焼却、埋立、減量化、資源化や施設の維持管理等に必要な経費を計上
・家庭や事業所から排出されるごみの減量化及び資源化
・ごみ処理施設の保守点検及び修繕

○ ごみ処理施設の建設　８４１，８２５千円
（７８，２００千円）

新資源化施設の整備(建替え)に必要な経費を計上
・新資源化施設の基本設計等の実施、旧ごみ処理施設の解体の実施

○ 循環型林業の構築及び多様な森林機能の発揮　５３６，０７５千円
（５６９，６７８千円）

伐採期を迎える人工林の整備や林業ＤＸ、スマート林業の促進に必要な経費を計上
・森林地図情報管理システムを活用した森林境界の明確化の推進
・ＩＣＴ機器の導入促進によるスマート林業の推進
・間伐等の森林整備に対する補助事業の拡充による木材生産量の拡大
災害に強い森林づくりや森とのふれあいの創出などに必要な経費を計上
・手入れ不足の私有林の間伐促進（重点区域森林整備）、生活環境保全林の管理

○ 市産材の利用拡大　６４，４１０千円
（６１，５１０千円）

市産材の利用促進を図るために必要な経費を計上
・市産材を利用した木造建築物に対する助成の拡充、間伐未利用材等の有効活用
・市産広葉樹材のサプライチェーン構築に向けた事業者向け実務研修会の実施

○ 森林文化や産業を支える人づくり･仕組みづくり　３３，４８８千円
（３９，８６８千円）

林業の担い手の育成・確保に必要な経費を計上
・県立森林文化アカデミー修学や森林管理の技術習得に対する助成
木育・森林環境教育、都市部との交流による森林づくり推進に必要な経費を計上
・ひだ木遊館を拠点とした木育や森林環境教育による森の担い手づくりの推進
・東京都千代田区等、都市自治体との連携による森林づくりの推進

農　政　部

令和９年度予算要求に関する基本方針

「飛騨高山の風土や有形無形の財産を活かした、活力と働きがいのある暮らしの実現」を目指し、以下の取組をすすめます。

・新たな農業技術の導入や耕畜連携の推進、担い手の確保・定着、遊休農地の活用などにより、地域特性を活かした魅力ある農畜産生産地づくりに取り組みます。

・地方卸売市場の活用や関係機関との連携により、地産地消の推進や農畜産物の高品質化・販路拡大に取り組みます。

・農地や農業用施設の整備、鳥獣被害防止対策、家畜診療体制の強化等を推進し、安心して農畜産業を営むことができる環境の整備に取り組みます。

要求額

単位：千円、％

会計名	令和８年度 当初予算額	令和９年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,204,284	1,470,115	265,831	22.07
卸売市場 特別会計	84,200	94,115	9,915	11.78

主な増減理由

・繁殖牛舎等建設支援事業に係る経費の増　１４３，６１０千円
・宮川防災ダム通信設備改修に係る経費の増　５２，４００千円
・畜産生産基盤強化及び全共出場等に係る経費の増　５０，３３８千円
・農作物獣害防止対策に係る経費の増　１７，７６８千円
・耐候性農業用ハウス更新支援に係る経費の増　１１，６２５千円

要求のポイント

（　　）は前年度予算額

○ 持続可能で活力ある第一次産業の創出　１１７，９０９千円
（１００，５４０千円）

活気ある第一次産業産地づくりのために必要な経費を計上
・地域計画の見直しと担い手等への農地のマッチング
・地域ぐるみの鳥獣被害防止体制の促進と緊急銃猟体制の充実

○ 担い手の育成・確保、スマート農業の促進　　６１，９７０千円
（６１，５２０千円）

担い手の育成・確保の推進に必要な経費を計上
・新規就農者等担い手への支援
・スマート農業技術の導入に対する支援

○ 農産物のブランド力強化と安全安心な産地づくり　　１３６，７１４千円
（１２６，３００千円）

ブランド力の高い産地産品づくりを推進するために必要な経費を計上
・小規模農家等の持続的な水稲栽培に必要な機械導入に対する支援
・耐候性ハウスへの更新に対する支援

○ 農業用施設の長寿命化及び防災対策の推進　　２６２，２２０千円
（１８６，３１４千円）

県の事業計画に基づく事業者負担に必要な経費を計上
・県営かんがい排水事業の推進
・県営ため池等整備事業の推進
・農地防災減災事業の推進

○ 畜産物のブランド力強化と安全安心な産地づくり　　２４８，２３８千円
（５４，２９０千円）

持続的な畜産経営のために必要な経費を計上
・繁殖牛舎等の整備に対する支援
・小規模農家等の経営維持に対する支援
・生産基盤の強化に対する支援
家畜改良によるブランド力強化に必要な経費を計上
・第13回全国和牛能力共進会（北海道大会）出品等への支援

○ 環境と調和した畜産振興と地域循環型産地づくり　　９９０千円
（８９０千円）

家畜防疫強化対策に必要な経費を計上
・家畜伝染病対策の充実
・農家への防疫対策の強化
・家畜診療業務の充実

○ 地方卸売市場の円滑な運営　　９４，１１５千円
（８４，２００千円）

卸売市場の運営等に必要な経費を計上

商　工　労　働　部

令和９年度予算要求に関する基本方針

・「飛騨の匠」の技を継承する人材を育て、次の世代へつないでいくため、伝統建築産業の後継者育成の取り組みを推進します。

・中小企業の事業継続力の強化を図るため、情報セキュリティ診断に基づくシステム導入や省エネ診断に基づく設備投資などの取り組みを支援します。

・魅力ある地域づくりを推進するため、老朽化した道の駅の大規模改修や業務の効率化、販路拡大の取り組みをすすめます。

・魅力ある商業空間を創出するため、商店街振興組合等が行う利便性や回遊性、安全性の向上に向けた取り組みを支援します。

・多様な人材の確保と産業の競争力強化を図るため、若者の地元就職・定着の促進、起業・創業支援等、ＤＸ人材の育成支援、働きがいのある労働環境の整備など、官民連携による多面的な取り組みをすすめます。

要求額

単位：千円、％

会計名	令和８年度 当初予算額	令和９年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,746,572	2,169,919	423,347	24.24

主な増減理由

・市制度融資に係る預託金の増　３６０，０００千円
・道の駅施設付帯施設の改修費等の増　６３，２８８千円
・中小企業融資、創業支援資金融資等に係る利子・保証料補給の増　３４，３３５千円
・伝統的工芸品産業への貸付金の減　△６，８００千円
・岐阜県産酒造用原料米価格高騰対策事業補助金の終了による減　△１５，０００千円
・新型コロナウイルス対策融資利子補給金の終了による減　△３０，０００千円

要求のポイント

（　　）は前年度予算額

○ 中小企業等融資事業の推進　１，３５６，０４０千円（９７５，１７０千円）

中小企業者、勤労者向けの低利融資の実施に必要な経費を計上
・小口融資、経営安定特別資金融資、勤労者生活安定資金融資
・事業承継関連融資制度に対する利子・保証料補給

○ 起業・創業の推進　　１９３，２００千円
（１４８，６００千円）

起業家の育成・支援に必要な経費を計上
・起業家に対する支援、創業支援資金融資
・若者等の創業チャレンジに対する支援

○ 地場産品の販売促進活動の推進　　１０，４６７千円
（９，４４０千円）

地場産品等の積極的な宣伝・販路拡大に必要な経費を計上
・飛騨高山展開催事業に対する助成

○ 伝統的工芸品産業等の振興　　３９，９６７千円
（４８，６７５千円）

伝統的工芸品産業等の振興や後継者育成、販路拡大等に必要な経費を計上
・後継者育成事業、伝統的工芸品産業団体に対する助成
・伝統建築産業における研修者の道具購入費を補助対象に拡充
・伝統的工芸品の販路拡大に対する支援

○ 道の駅付帯施設の改修等による魅力向上　　１３３，５０１千円
（７０，６００千円）

道の駅飛騨街道なぎさの大規模改修及び備品整備に必要な経費を計上
道の駅パスカル清見の屋外トイレの改築設計費を計上

○ 中心市街地の活性化　　６２，３８５千円
（６７，８８７千円）

にぎわいのある商業空間の形成と中心市街地の活性化に必要な経費を計上
・飛騨高山にぎわい交流館「大政」の運営
・まちづくり会社が行う中心市街地活性化事業等に対する助成
・商店街の空き店舗活用や歩行空間の安全確保、景観形成に対する助成

○ 企業誘致対策の推進　　４８，３９０千円
（５８，３８０千円）

企業誘致の推進に必要な経費を計上
・本社機能の移転やクリエイティブ産業などの企業誘致活動
・サテライトオフィス等の開設に対する助成

○ 中小企業の事業継続力の強化　　３，８７５千円
（０千円）

情報セキュリティ診断及び対策実施への支援に必要な経費を計上
・情報セキュリティ診断及びセキュリティシステム導入に必要な経費に対する支援
中小企業が行う省エネ診断実施への支援に必要な経費を計上
・省エネ診断及び診断に基づく設備投資に対する支援

○ 産業を担う人材の確保・育成　　１６０，８２０千円
（１６０，７２０千円）

地元就職する若者への支援、労働力確保に必要な経費を計上
・地元就職者に対する家賃・奨学金の返済に対する助成
・企業のＤＸ人材育成、インターンシップ受入、副業・兼業人材の活用に対する助成
・外国人材の地域・職場定着に対する助成
・市内若手社員向けセミナーや都市圏での若手人材交流イベントの開催
・こどもの職業・職場体験の開催に対する助成
・働き方改革に関するセミナーの開催

飛騨高山プロモーション戦略部

令和９年度予算要求に関する基本方針

飛騨高山ブランド指針を軸に当市の魅力･価値を磨き上げ、国内外からの観光誘客の推進を図るとともに、「観光を活用した持続可能な地域づくり方針」に基づいて市全域における一体的なプロモーションを推進します。

・地域産業の活性化のため、市内事業者のブランド展開に対する支援や地元産品のＰＲ活動、ふるさと納税の推進を図ります。

・地域活力の維持・向上のため、関係人口の増加や移住交流の促進を図ります。

・「住んでよし、訪れてよし」の持続可能な地域づくりを実現するため、観光地域づくり組織と地域が一体となったプロモーションに対する支援や市民理解の醸成を図ります。

・「with Respect」の考え方に基づき、宿泊税や入湯税を活用し、市民生活の向上と観光振興との調和を図ります。

・観光施設の利用促進を図るため、適切な管理運営や老朽設備の更新を行います。

要求額

単位：千円、％

会計名	令和８年度 当初予算額	令和９年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	2,598,404	2,486,618	△ 111,786	△ 4.30
観光施設事業 特別会計	90,253	104,536	14,283	15.83

主な増減理由

・持続可能な観光地域づくり事業の強化による増	３５，０００千円
・ふるさと住民登録制度の運用開始による増	１０，０７２千円
・海外派遣職員の赴帰任旅費の増	７，４２０千円
・地域活性化起業人材受入数減少による減	△５，５００千円
・観光施設等整備費の減	△１５０，４８０千円

要求のポイント

（　　）は前年度予算額

○ 国内外からの観光誘客の推進　　２６２，０９２千円（２６０，７１４千円）

高山祭等の受け入れ環境対策、各種団体等との連携に必要な経費を計上

・広域連携を含めた誘客宣伝事業の推進
・高山祭開催時における観覧者の安全確保対策の強化
・訪日外国人観光客の受入環境整備等の推進
・鉱泉源保護管理施設の整備等に対する助成

○ 持続可能な観光地域づくりの推進　　３３５，６１０千円（３０６，３４０千円）

持続可能な観光地域づくりの推進に必要な経費を計上

・各観光協会の体制強化や独自の取り組みに対する支援強化
・市内観光関連団体と連携したプロモーション等の推進

○ 観光施設の運営　　４９０，６１６千円（６３６，９２３千円）

温泉施設、キャンプ場、スキー場等の運営及び施設整備等に必要な経費を計上

・観光施設の運営、整備

○ 飛騨高山ブランドの意識醸成と情報発信　　５，７７８千円（５，６９０千円）

飛騨高山ブランドの確立を図るために必要な経費を計上

・飛騨高山ブランドの磨き上げ事業の実施
・飛騨高山ブランドの展開等に対する助成
・インナーブランディングの推進

○ 飛騨高山への移住定住の促進　　３７，７０９千円（２７，８１０千円）

移住定住促進及び関係人口創出を図るために必要な経費を計上

・移住者、関係人口創出のための助成
・移住者ネットワークの運営等
・ふるさと住民登録制度の運用

○ ふるさと納税の推進　　１，４５９，３４９千円（１，４５１，１８０千円）

ふるさと納税の推進に必要な経費を計上

・お礼の品の充実
・ふるさと納税推進のための業務委託

建　設　部

令和９年度予算要求に関する基本方針

・市民や市を訪れる方々の安全安心、利便性、快適性の向上を図るため、道路・河川など災害に強いインフラ整備に取り組みます。

・周辺自治体や関東・関西・北陸をはじめとした圏域との観光・物流・医療・交流人口などの広域的拡大を図るため、国・県・関係団体と協力して高速道路や地域間連絡道路の整備促進に取り組みます。

要求額

単位：千円、％

会計名	令和８年度 当初予算額	令和９年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	7,647,090	7,590,014	△ 57,076	△ 0.75

主な増減理由

・幹線市道の維持・修繕工事の増　　４５４，７００千円
・街路松之木千島線（松之木～江名子工区）事業の増　　１３９，８９８千円
・除雪委託料、融雪工事費及び除雪機械購入費の増　　１２０，３２１千円
・街路西之一色花岡線の用地費及び補償費の減　　△１４９，７９０千円
・街路松之木千島線（千島工区）の工事完了による減　　△２５１，７１０千円
・中部縦貫自動車道にかかる中間インターチェンジ用地取得完了による減　　△３８６，１００千円

要求のポイント

（　　）は前年度予算額

○ 街路事業の推進　　３，４９８，５１８千円（３，７６０，１３０千円）

道路交通の円滑化を図るための街路整備に必要な経費を計上
・松之木千島線（千島工区）（踏切内道路用地取得）
・松之木千島線（松之木～江名子工区）（トンネル工事、明り部工事など）
・西之一色花岡線（用地補償、側溝新設工事）

○ 道路新設改良事業の推進　　３１９，７８０千円（３５５，８２０千円）

道路交通の円滑化を図るための道路新設改良に必要な経費を計上
・旅行村線、地域要望による側溝新設工事など
・県営土木事業負担金

○ 道路の安全性確保や道路網の維持　　１，１５０，１００千円
（６９５，４００千円）

安全で円滑な道路交通を確保するため、道路・側溝・舗装・橋りょうの修繕などに必要な経費を計上

・地域要望に基づく市道の維持・修繕
・災害に強い市道の維持・修繕

○ 交通安全対策の充実　　１４７，１１８千円
（１８５，３６６千円）

交通安全施設の整備に必要な経費を計上

・交通安全施設の維持・修繕、道路施設のバリアフリー化
・通学路安全点検における要対策箇所の解消

○ 除雪対策の充実　　１，４０５，０２１千円
（１，２８４，７００千円）

歩車道除雪による冬季交通の安全確保に必要な経費を計上

・除雪計画に基づく歩車道除雪の実施
・道路融雪設備の更新、消融雪側溝の整備
・現行除雪体制の維持・強化のための市有除雪車両の計画的更新

○ 橋りょう長寿命化改良事業の推進　　２１３，０００千円
（１７３，２００千円）

橋りょうの長寿命化に必要な経費を計上

・長寿命化修繕計画に基づく橋りょうの改良

○ 急傾斜地崩壊対策事業の推進　　７０，０００千円
（８２，５００千円）

豪雨等による災害を防止するため、急傾斜地の崩壊対策工事に必要な経費を計上

・急傾斜地の崩壊対策

○ 普通河川整備事業の推進　　２０２，０００千円
（１８６，０００千円）

豪雨等による災害を防止するため、普通河川整備に必要な経費を計上

・河川氾濫等の危険個所における計画的な普通河川の整備及び浚渫
・溢水などの課題箇所の改善に向けた、雨水排水系統や水路通水断面等の調査

○ 道路台帳電子化の推進　　８７，０６５千円
（０千円）

道路台帳の電子化に必要な経費を計上

・基礎データ作成のための航空写真撮影及び図面デジタル化

○ 駐車場管理の充実　　１１６，７０２千円
（５８，６６６千円）

市営駐車場の適切な管理に必要な経費を計上

・ＱＲ認証端末を利用した市民割引実証実験

○ 中部縦貫自動車道等事業の推進　　６５，３４０千円
（４５１，４４０千円）

中部縦貫自動車道等の事業促進に必要な経費を計上

・中間インターチェンジへのアクセス道路整備に必要な用地補償など
・中間インターチェンジ周辺の地域活性化整備に伴う測量設計
・石浦バイパス関連の河川改修調査

都　市　政　策　部

令和９年度予算要求に関する基本方針

・公共交通の路線やダイヤの見直しを通して、利便性の向上と交通手段の確保に努めます。

・公園の再整備を進め、こどもたちが１日楽しく過ごすことができる魅力的な空間や幅広い世代がくつろぐことができる空間を創出します。また、街路樹や遊歩道、まちかどスポットの再整備を進め、誰もが緑に親しみ潤いと安らぎを感じることができる空間の創出に取り組みます。

・景観形成基準の見直しに伴い、事業者や一般市民等と協力して良好な景観まちづくりについての理解を促すと共に、新たな景観を創出するための取り組みを進めます。

・市営住宅整備方針に基づき、施設の状況に応じた長寿命化改修等を計画的に進めます。また廃止する方針としている団地については、他用途への転用や譲渡を進めるなど、施設の有効活用に取り組みます。

・その他、伝統的な技術の保存と活用、耐震化の促進などを図り、安全安心なまちづくりを進めます。

要求額

単位：千円、％

会計名	令和８年度 当初予算額	令和９年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,050,864	1,239,260	188,396	17.93

主な増減理由

・都市計画図の作成に関する経費の増	６７，４００千円
・下三之町大新町線の歩行空間整備による増	２９，０００千円
・横丁・スポットなどの整備による増	２８，０００千円
・建築物耐震診断に対する助成の増	２７，８５０千円
・自主運行バスの運行経費等の増	２６，６００千円
・大規模盛土造成地地盤調査費の増	１６，２７０千円
・上三之町下三之町線他無電柱化整備による増	１５，０００千円
・夜間景観整備計画策定にかかる経費の増	１０，２６０千円
・公園長寿命化整備計画策定業務の減	△１１，０００千円

要求のポイント

（　　）は前年度予算額

○ 自主運行バス等の運行　　３２７，９００千円
（３０９，２００千円）

自主運行バス等の運行に必要な経費を計上
・のらマイカー等の運行委託

○ 既存不適格看板の是正に対する助成　　１４，８００千円
（１４，８００千円）

景観基準に不適格となる看板の改修等に対する助成に必要な経費を計上

○ 夜間景観整備計画の策定　　１０，２６０千円
（０千円）

夜間景観整備計画策定に必要な経費を計上

○ 安全で快適に利用できる公園施設等の整備　　２４１，７９１千円
（２０６，０００千円）

公園の再整備等に向けた必要な経費を計上
・原山市民公園、アルプス展望公園「スカイパーク」の整備
周遊ルートなどまちなみ環境の整備に必要な経費を計上
・下三之町大新町線の歩行空間整備
・横丁の整備
・中橋下流・筏橋スポットの整備

○ まちなかの良好な景観創出のための整備　　１５，０００千円
（０千円）

無電柱化整備事業に必要な経費を計上
・市道上三之町下三之町線他無電柱化に向けた予備設計

○ 空家等対策事業の推進　　５，７５０千円
（５，７５０千円）

空家等の適切な管理や活用の促進に必要な経費を計上
・老朽空家等の除却に対する助成

○ 建築物の安全性の向上　　４８，１６０千円
（２０，３１０千円）

住宅等の耐震化促進に必要な経費を計上
・木造住宅等の耐震診断、建築物の耐震補強に対する助成
・耐震診断義務化建築物の耐震診断に対する助成

○ 大規模盛土造成地防災対策の推進　　１８，７７０千円
（２，５００千円）

大規模盛土造成地の防災対策に必要な経費を計上
・大規模盛土造成地の地盤調査委託費

○ 伝統技術の継承（後継者育成）の推進　　１８，０００千円
（１６，５００千円）

伝統的大工技術等の継承（活用促進）に必要な経費を計上
・伝統的な技法による建造物修景工事等に対する助成

○ 市営住宅の整備　　１２１，９１１千円
（１３４，１００千円）

市営住宅の整備に必要な経費を計上
・奥飛騨温泉郷団地の外壁改修、下岡本団地屋根改修
・杉ヶ丘団地の長寿命化工事設計

水　道　部

令和９年度予算要求に関する基本方針

・安全安心な水を安定して供給するため、予防的な修繕により施設の延命化を図ります。

・将来に繋げる効率的な水道を実現するため、配水区域の再編に取り組みます。

・いつまでも住み続けることができる環境を保つため、下水道施設の適正な維持管理に取り組みます。

・有事に強いまちを確立するため、下水道施設の長寿命化と耐震化を進めます。

要求額

単位：千円、％

会計名	令和８年度 当初予算額	令和９年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	279,255	259,699	△ 19,556	△ 7.00
水道事業会計	3,154,304	3,420,531	266,227	8.44
下水道事業会計	5,487,522	5,453,874	△ 33,648	△ 0.61

主な増減理由

・基幹管路耐震化整備による増（水道事業会計）　２２８，０００千円
・浄水設備更新による増（水道事業会計）　１９０，０００千円
・処理区域再編整備による増（下水道事業会計）　６８，０００千円
・処理施設更新等による増（下水道事業会計）　２８，０００千円
・し尿処理施設設備更新による減（一般会計）　△１９，０００千円
・管きょ施設更新等による減（下水道事業会計）　△２５，０００千円
・地理情報システム整備の完了による減（下水道事業会計）　△２７，０００千円
・企業債償還元金の減（下水道事業会計）　△７９，０００千円
・道路改良関連管布設替による減（水道事業会計）　△１１６，５００千円

要求のポイント

（　　）は前年度予算額

○施設の老朽化対策の推進　　３５２，５２３千円
（１５３，８６９千円）

安全・安心な水を安定して供給するための施設整備に必要な経費を計上
- ・配水区域再編整備（宮第１水源）
- ・浄水施設の更新整備、耐震診断

○基幹管路の耐震化と老朽管布設替の推進　　６５３，９８４千円
（５１７，１１４千円）

安全安心な水を安定して供給するための施設改良に必要な経費を計上
- ・基幹管路の耐震化整備
- ・老朽管の布設替工事、道路改良に伴う布設替工事

○配水施設整備（拡張）の推進　　４８，２７０千円
（７２，２５４千円）

安全安心な水を安定して供給するための配水施設整備に必要な経費を計上
- ・配水区域再編整備（一宝水・一重ケ根）
- ・未給水地区の解消

○管きょ施設の整備、処理区域の再編整備の推進
３５９，３２１千円
（３１９，０６９千円）

公共用水域の水質保全と生活環境の向上を図るための管きょ施設整備に必要な経費を計上
- ・マンホール蓋、マンホールポンプ等の更新
- ・管きょ布設（河川改良関連、道路改良関連　ほか）
- ・処理区域の再編整備（丹生川、国府）

○処理施設の長寿命化、耐震化の推進　　１８１，８１２千円
（２１８，８１０千円）

公共用水域の水質保全と生活環境の向上を図るための下水処理施設整備に必要な経費を計上
- ・処理場設備の長寿命化工事
- ・処理場の耐震化整備

会　計　室

令和９年度予算要求に関する基本方針

・効率的な出納事務の遂行や歳計現金の管理など、適正な会計事務を推進します。

・安全性、流動性、効率性の確保を基本とした資金管理及び運用を図ります。

要求額

単位：千円、％

会計名	令和８年度 当初予算額	令和９年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	43,711	43,296	△ 415	△ 0.95

要求のポイント

（　　）は前年度予算額

○ 適正な会計事務の推進

４３，２９６千円
（４３，７１１千円）

適正な会計事務推進のために必要な経費を計上
- 効率的な出納事務遂行
- 歳計現金の適正な管理
- 金融機関の窓口収納手数料
- 金融機関の公金支払い（口座振込等）手数料
- 口座振替及び口座振込データ伝送手数料
- 指定金融機関事務（派出所業務）取扱手数料

監　査　委　員　事　務　局

令和９年度予算要求に関する基本方針

効率的かつ効果的な手法による、市民の視点に立った公平・公正な監査等を実施します。

要求額

単位：千円、％

会計名	令和８年度 当初予算額	令和９年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	6,756	6,756	0	0.00

要求のポイント

（　　）は前年度予算額

○ 適正な行財政運営に資する監査等の実施　　５，７６６千円
（５，６７５千円）

監査等の実施に必要な経費を計上

議　会　事　務　局

令和９年度予算要求に関する基本方針

広大な市域におけるまちづくりの責任ある意思決定機関として、市民の負託に応えるべく、議員相互の議論を深めて合意形成を図り、わかりやすく開かれた議会を目指します。

要求額

単位：千円、％

会計名	令和８年度 当初予算額	令和９年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	37,200	37,750	550	1.48

主な増減理由

・議会広報紙印刷代の増　　９４６千円
・全国和牛能力共進会激励費用の増　　７５０千円

要求のポイント

（　　）は前年度予算額

○ わかりやすく開かれた議会運営

３７，７５０千円
（３７，２００千円）

議会運営に必要な経費を計上
・議会・委員会等の中継
・議会広報紙の発行
・市民意見交換会（地域別・分野別）の開催
・議会情報の発信

教　育　委　員　会　事　務　局

令和９年度予算要求に関する基本方針

第４期高山市教育振興基本計画の具現化に向けて、学校、家庭、地域が連携した取り組みを促進し、飛騨高山への誇りと愛着の醸成を図ります。また、個人の資質や能力を高め、活かすことで、未来に向けて地域や社会を創る担い手となる多様な人材を育成することを目指し、以下の取り組みを進めます。

・教育の質や学ぶ力の向上を目指し、多様なカリキュラムを充実させるとともに、すべてのこどもたちの挑戦や自己実現を支援し、持続可能な社会を創る人材を育成します。

・時代の変化に対応した施設整備や、老朽化した学校施設等の計画的な改修を推進し、安心・安全・快適な教育環境の充実を図ります。

・歴史文化資源に対する理解と愛着を醸成するため、地域や社会と連携して調査、整理、活用に取り組み、着実に未来へ継承するとともに、その資源を活用できる人材を育成します。

要求額

単位：千円、％

会計名	令和８年度 当初予算額	令和９年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	2,783,822	5,049,765	2,265,943	81.40

主な増減理由

・学校給食センターの整備による増	９８５，２００千円
・朝日学園の整備による増	７１２，２５０千円
・北小学校屋内運動場長寿命化改修による増	６４５，２３０千円
・飛騨高山まちの博物館の照明ＬＥＤ化改修による増	５０，７３８千円
・松倉中学校支障物件の移転工事費の減	△１１０，７３０千円

要求のポイント

（　　）は前年度予算額

○ 教育の充実

１７１，１４２千円
（１６４，７０７千円）

教育の充実に必要な経費を計上

・教育支援センターの運営・学びの多様化教室「にじ色」の運営
・ＡＬＴによる外国語教育の実施
・あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施
・心のスクール検討委員会の運営
・いじめ防止アドバイザーの派遣によるいじめの未然防止
・外国にルーツのある児童生徒への支援
・義務教育学校における教育活動の充実に向けたアドバイザーの派遣
・幼保小ともに育む委員会の設置

○ 教育環境の整備　　４００，１４５千円
（３８９，８４０千円）

教育環境の整備に必要な経費を計上
- 教材備品の整備
- 教育系ＩＣＴ機器の活用（各種情報機器・一人一台タブレットの運用ほか）
- 教職員の負担軽減（校務支援システムの運用ほか）
- 地域クラブ活動の支援（地域クラブ指導者への謝礼、支所地域からのバス運行ほか）

○ 安全・安心・快適な学校施設等の整備　　１，９２６，８７０千円
（６７３，１３０千円）

学校施設等の安全・安心・快適な環境整備に必要な経費を計上
- 朝日学園の整備
- 学校施設の長寿命化改修（北小学校屋内運動場、宮小学校屋内運動場）
- 学校施設のトイレ改修など
- スクールバスの更新、スマートロックの拡大

○ 高等教育の充実　　２，４００千円
（２，４００千円）

高等教育の充実に必要な経費を計上
- 私立高等学校、短期大学等に対する助成

○ 学校給食センターの運営　　１，２３５，１７３千円
（２４７，２９７千円）

児童生徒の心身の健全な発達を図るための給食運営に必要な経費を計上
- 学校給食センターの運営
- 学校給食センター（新高山センター）の整備

○ 安全・安心な学校給食の提供　　４８０，０００千円
（４９５，８６０千円）

安全・安心で魅力ある学校給食の提供に必要な経費を計上
- 学校給食の質の確保
- 学校給食費の無償化

○ 地域文化継承への支援　　３，８２５千円
（３，８２５千円）

地域の文化継承に必要な経費を計上
- ユネスコ無形文化遺産等の継承支援
- 伝承芸能保存団体に対する助成

○ 歴史的町並み保存の推進　　４６，０２９千円
（５７，２００千円）

歴史的な町並み保存の推進に必要な経費を計上
- 伝統的建造物群保存地区保存対策に対する助成
- 伝統的建造物群保存地区防災対策に対する助成
- 伝統的建造物群保存地区の拡大に向けた取り組み
- 伝統構法による建造物の耐震化

○ 歴史・文化活用の推進　　１９１，７２５千円
（１４０，６０９千円）

歴史・文化を活用した地域づくりの推進に必要な経費を計上
- 文化財施設（飛騨高山まちの博物館等）の維持管理と活用
- 日本遺産の活用
- 城跡の保存と活用を図るための調査及び計画の策定
- 収蔵されている歴史資料の調査や整理の実施
- 風土記の丘史跡公園での講座開催・常設体験等の実施

消　防　本　部

令和９年度予算要求に関する基本方針

・市民の安全・安心を確保するための消防機能の充実強化

・消防指令システム及び消防救急デジタル無線システムの運用による迅速な災害対応

・消防施設、車両、水利等の適正な維持管理と計画的な更新整備による消防力の強化

・消防団活動の安全対策強化、福利厚生の充実による士気高揚と団員の確保

・消防隊員の安全対策強化

要求額

単位：千円、％

会計名	令和８年度 当初予算額	令和９年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	696,157	812,786	116,629	16.75

主な増減理由

・消防車両の更新　　１０９，５００千円

要求のポイント

（　　）は前年度予算額

○ 消防施設の整備　　６１，９４６千円
（１６２，７１８千円）

消防施設の整備、改修に必要な経費を計上
・高山消防署訓練棟改修、消防団車庫改修

○ 持続可能な消防団活動の推進　　１３２，３１６千円
（１３５，９５０千円）

持続可能な消防団活動に必要な経費を計上
・消防団活動充実のための支援

○ 消防力の充実強化と救急救命体制の強化　　２８，３３８千円
（１２，０１５千円）

消防力の充実強化と救急救命体制の充実を図るために必要な経費を計上
・誰もが応急手当やAEDが使用できる環境の整備、救命資器材の整備

○ 消防車両の更新整備　　１４５，６００千円
（３６，１００千円）

消防車両の更新整備に必要な経費を計上
・常備消防車両及び消防団車両の更新整備

○ 消防水利施設の整備　　４４，８４０千円
（４３，４００千円）

消防体制の充実を図るため消防水利施設の整備に必要な経費を計上
・耐震性貯水槽の整備、消火栓の維持管理